

# 事業計画

## I 事業方針

本協会の目的を達成するため、関係機関・団体と綿密な連携を図りながら、「県民スポーツの振興」に向け、さらに県立体育施設の管理・運営を促進するため積極的に諸事業を推進する。

## II 事業内容

### 1. 県民スポーツ振興事業(公1)

県民が生涯にわたり健康で明るく豊かな生活を営むためには、目的、体力や年齢等ライフステージに応じ、生涯にわたってスポーツ活動に親しむことが必要である。

本事業は、県民がスポーツに親しむことのできる社会を実現するため、スポーツ活動を推進し、本県スポーツの振興を達成しようとするものである。また、その成果や功績を表彰することで、スポーツ活動に貢献しようという機運を高め、その成果を県民に広く周知することで、県全体のスポーツ活動の底上げを図る。

#### (1) スポーツ活動支援事業

##### 1) 市町村等スポーツイベント助成事業(25事業)

市町村体育協会または国民体育大会未開催競技の団体を対象に、地域住民と一緒に実施するスポーツイベントに対して、申請により開催に必要な経費の一部を助成する。

##### 2) スポーツ愛好者医・科学カウンセリングプロジェクト(4会場)

生涯スポーツの推進のため、地域のスポーツ愛好者が、よりスポーツに長く親しむことができるよう、スポーツ障害(傷害)の予防や自身が抱える疑問などを、スポーツ医・科学的な知見からアドバイスできる各専門家に相談し、心身の健康維持・増進を図る。

##### 3) 島根県スポーツ・レクリエーション祭開催事業

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を広域的な規模で体験する場や交流する場を提供し、県民一人一人のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、県民の生涯を通じた健康増進とスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図るために実施する。

- ・種目別交流大会 23会場(20種目)
- ・スポレク広場 13広場
- ・しまねレクリエーションフェスティバル 2会場(松江市・浜田市)

#### 4) スポーツ安全保険の普及推進事業

県内のアマチュアスポーツ活動等を行う団体を対象に、公益財団法人スポーツ安全協会との委託契約に基づき、スポーツ活動等における安全指導や事故防止に関する活動を行う。

また、スポーツ活動を側面的に支援するスポーツ安全保険に関して、普及・広報活動を行い加入受付について手続きを支援する。

#### 5) スポーツ活動広報事業

県におけるスポーツの現状や本会の諸事業について、発刊物等の作成配布や本会HPを通じて、広く県民に広報活動、情報発信を行う。

##### ① 情報誌等発行事業

ア. 体協だよりの発刊（年2回）

イ. スポーツ年間行事予定表の作成（年1回）

ウ. 総合型地域スポーツクラブ広報リーフレット（年1回）・しまね広域スポーツセンターニュース（年2回）、カレンダーの発行

##### ② テレビ・新聞等広報事業

ア. テレビPR、新聞広告掲載の実施

テレビPR：スポーツ月間、国民体育大会

新聞広告：インターハイ特集での広報

イ. ホームページ等による広報

体育協会ホームページ、各体育施設ホームページ、しまね広域スポーツセンターホームページでの情報発信

##### ③ 国体等での本県選手の活躍状況等の広報

県民に国体や競技スポーツへの理解や支援を得るため、本県選手の活躍状況や強化指定競技の強化の取り組みなどの広報を積極的に行う。

#### 6) その他スポーツ活動支援事業

##### ① スポーツ大会開催等支援事業

市町村体育協会または競技団体が主管して、本県で開催する全国又は中国ブロック規模のスポーツ大会に対して本会が共催団体となり、スポーツ人口の拡大とスポーツの普及振興を図るため、開催に必要な経費の一部を補助する。

##### ② 海外遠征支援事業

本県及び本県出身のオリンピックをはじめとする国際大会に日本代表として出場するスポーツ選手又は監督に激励金を贈呈し支援する。

#### (2) スポーツ活動顕彰事業

本県スポーツの発展に功績のあった者に対して表彰を行うことで、スポーツ活動の啓発、振興を図る。

1) 島根県体育協会表彰

- ・スポーツ競技会において優れた成績を挙げた選手又はチーム
- ・優れた指導力があり、その功績が顕著な指導者
- ・継続的に活動し、優れた実績を挙げて本県スポーツの振興に多大の貢献をしたと認められる団体等
- ・本会又は本会の加盟団体に所属する者であって、本県スポーツの振興又は、本会の運営等に貢献し、その功績が著しい者。

2) 岡田善富賞

今日の本会の礎を築き上げられた功労者であり、島根県のスポーツ競技力向上に尽力された故岡田善富氏の遺志を引き継ぎ、その寄付金を基金として島根県のトップコーチとして輝いている指導者を表彰する。

3) スポーツ少年団顕彰

- ・永年にわたり活発な団活動を行い、その実績が優れており他の単位団の範となる単位団
- ・永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市町村スポーツ少年団本部
- ・永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のある登録指導者
- ・永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のあった退任指導者

4) 国民体育大会特別褒賞制度

国民体育大会において入賞かつ競技得点を獲得した選手・監督に報奨金を贈呈し、その勝利と健闘を讃えると共に、今後の強化活動を奨励し一層の競技レベルの維持向上を図る。

(3) 指導者養成事業

1) スポーツ指導者研修会

①公認スポーツ指導者研修会

日本体育協会公認スポーツ指導者の資質、指導力の向上及び情報交換やネットワークづくりなど指導者相互の交流を図るために実施する。また、資格更新のための義務研修とし資格更新の促進を図る。

- ・平成30年9月9日：くにびきメッセ（松江市）

②地域スポーツ活動指導者研修会

地域のスポーツ活動に携わる指導者の知識と技術の向上並びに総合型地域ス

スポーツクラブに携わる指導者に対して、自立運営に向けた指導・助言ができるマネジメント能力養成を目的に開催する。また、資格更新のための義務研修とし資格更新の促進を図る。

ア. 合同研修会兼スポーツ指導者研修会（年1回）

平成31年2月16日 島根県民会館（松江市）

イ. ヒューマンエラー防止研修会 平成30年8月頃（会場未定）（新規）

## 2) 競技別指導者養成講習会

地域においてスポーツ活動の基礎的な技術指導にあたる日本体育協会公認スポーツ指導者を養成する。

・実施競技：テニス、軟式野球

## 3) スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会

日本体育協会スポーツ指導者制度に基づき、スポーツ指導やボランティアに関する基礎的な知識を身に付け、地域活動におけるスポーツグループやサークルなどのリーダー的な存在として活躍する「スポーツリーダー」の養成及び日本スポーツ少年団指導者制度に基づき、地域・市町村においてスポーツ少年団の育成・指導にあたる「スポーツ少年団認定員」を養成する。

・平成30年9月29日～30日：出雲健康センター（出雲市）

・平成30年12月1日～2日：島根県職員会館（松江市）

## 4) 生涯スポーツ推進セミナー

生涯スポーツや地域スポーツ活動の推進に関する今日的テーマを取り上げて、県内のスポーツ指導者を対象に指導者の養成と資質の向上、活用を図るために実施する。また、資格更新のための義務研修とし資格更新の促進を図る。

・平成30年10月27日（海士町）

・平成30年10月28日（隠岐の島町）

## 5) 少年スポーツ指導者セミナー・県スポーツ少年団指導者協議会総会

県内の少年期のスポーツ指導に携わる指導者を対象に、指導者に必要とされる知識、発育発達特性に応じた指導技術を習得するために開催する。また、指導者間の連携を図るため、セミナーに合わせてスポーツ少年団指導者協議会総会を開催する。

・平成30年6月10日：島根県職員会館（松江市）

## 6) 公認アシスタントマネジャー養成講習会

総合型地域スポーツクラブの運営に必要なマネジメントの基礎知識を有する人材を養成するために「公認アシスタントマネジャー養成講習会」を実施する。

・平成30年9月29日～30日：サンライフ松江（松江市）

## 7) 総合型地域スポーツクラブマネジメント研修会

県内総合型地域スポーツクラブが安定したクラブ運営を行うとともに、クラブ会員が充実したクラブライフを送るため、クラブマネージャー及びスポーツクラブマネジメント能力の向上を図る。

・第1回：平成30年8月5日（出雲市）

・第2回：平成31年2月上旬（松江市）

8) 島根県スポーツ競技力向上セミナー

競技団体推薦指導者、重点指導者、高校指定校指導者、中学生指定競技指導者を対象に研修会を通して指導者の資質の向上と、全国で戦う意識を喚起する。

9) 競技団体別指導者養成

全国的に実績のある県外優秀指導者を招聘し、県内指導者の資質向上を図る。

10) 指導者派遣事業

① スポーツ指導者派遣事業（スポーツクリニック）

県民が生涯にわたって継続的なスポーツライフに親しめるよう、地域でスポーツ活動を行うスポーツクラブ、団体等を対象に、県体育協会の職員を派遣しスポーツ活動のサポートを行い地域の活性化、コミュニティの構築を図る。

② スポーツリーダーバンク派遣

市町村や地域の各種団体の求めに応じて、スポーツの普及振興や競技力向上、指導者養成等のためスポーツリーダーバンク登録指導者を派遣する。

③ 広域スポーツセンター指導者派遣

総合型地域スポーツクラブの設立・育成に向けた助言、スポーツを通じた地域づくりの指導や実技指導を行うためスポーツリーダーバンク登録指導者等を派遣する。

④ 日本スポーツ少年団認定育成員研修会への派遣

⑤ 中国ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会への派遣

・平成30年11月：鳥取県

⑥ 第1回ジュニアスポーツフォーラムへの派遣

・平成30年6月17日：ホテルグランドパレス（東京都）

⑦ 幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会への派遣

・開催時期未定

⑧ 全国スポーツ少年団指導者協議会への派遣

・平成30年6月15日～16日：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

⑨ 全国スポーツ少年団リーダー連絡会への派遣

・平成30年6月16日～17日：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

⑩ 中国ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会への派遣

中国 5 県のスポーツ少年団のリーダーが集い、リーダーとしての資質向上を図り、将来の指導者育成を目的とする。

・平成 30 年 8 月 17 日～19 日：島根県立少年自然の家（江津市）

⑪ シニア・リーダースクールへの派遣

・平成 30 年 8 月 9 日～13 日：国立中央青少年交流の家（静岡県）

⑫ 重点指導者の県外研修派遣

選手の資質や能力を十分に引き出す優秀な指導者を養成するために県外の先進校や研修会等へ指導者を派遣する。

(4) 競技力育成強化事業

島根県教育委員会並びに本県体育・スポーツ関係団体と緊密な連携を図ることにより効果的な短期対策を実施し、全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会等の全国規模の大会で活躍できる選手の育成・強化や第 73 回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」において昨年を上回る総合成績を目指す。

併せて、将来的な展望に立った中・長期対策を地域と一体となり実施することにより、ジュニア層の選手強化と普及並びに優秀指導者の育成を図る。

1) 国体強化事業

① 指定選手の特別強化

ア. 国体 2 次、1 次強化ブロック大会を 1 位で突破し、本大会において入賞するために、第 73 回国体 2 次強化として指定競技 A・B、企業指定並びに特別指定により、県内外での強化練習会並びに県外の強豪チームを招請しての合同練習会や練習試合を実施する。

また、全国レベルの競技力を維持するためには、次年度の選手強化事業を円滑に推進する必要がある。そのため、第 73 回国体終了後、ただちに第 74 回国体 1 次強化として指定競技を対象に県内外での強化練習会を実施する。

※ 指定競技 A：3 年間に 2 回以上得点を獲得した競技種別の団体・個人  
指定競技 B：3 年間に 1 回得点を獲得した競技種別の団体・個人

イ. 国体ブロック大会後の強化

ブロック大会終了後、本大会において確実に入賞するため、ブロック大会上位突破競技や、県単独出場競技で入賞の可能性が出てきた競技の県外遠征・現地合宿を実施し実践力を高める。

② 特殊競技の支援

ア. 競技用具の整備

競技力向上に必要な競技用具の整備をする。

イ. 用具運搬費の補助

合宿地や練習会場等への競技用具の運搬費を支援する。

ウ. 維持管理費の補助

借地等に係る維持管理費を支援する。

エ. 練習付帯経費の補助

練習付帯経費を補助し、選手の強化活動を支援する。

2) ジュニア選手の育成強化事業

① 重点校（別表1）

ア. 県外遠征

全国レベルで活躍する選手を育成するために、指定した競技種目の県外遠征を実施し実践力を高める。

イ. 県外強豪校等の招請

県外の強豪校チームや個人選手を招請し、合同練習や練習試合を実施することで競技力向上を図る。

② 国体女子種目指定校（別表2）

女子競技の競技力向上の一環として、国体の成年・少年種別の区別のない女子種目について、高校生の競技力を高めるため、学校を指定し競技力向上を図る。

③ 中学生指定競技（別表3）

全国レベルで活躍する選手を育成するために、指定した競技種目の県外遠征を実施し選手強化を図る。

④ 世界へ羽ばたくジュニア選手の育成・強化

オリンピックや世界選手権など国際大会で活躍できる選手を育成するため、全国規模の大会で活躍している選手及びその指導者の県外遠征を実施し選手強化を図る。

⑤ 地域が輝くスポーツしまね推進プロジェクト

ア. 競技スポーツ強化・普及促進

地域一体となり、練習会・講習会・フェスティバル等を実施することにより、競技力の向上と普及を図ることと競技スタッフ等を育成する。

- ・都道府県対抗駅伝の強化
- ・2020オリンピック候補選手強化
- ・トップチーム強化活動支援

イ. 西部・隠岐拠点校（別表4）

県西部（大田以西）、隠岐地域の県立高校を対象に小中学生の段階から地域を挙げた競技力向上が継続的に見込まれる競技の高校を指定し強化を図る。

⑥ しまね未来のアスリート育成【モデル事業】（新規）

スポーツ活動に意欲のある児童、生徒に「体を動かす機会」と「様々な競技を体験する場」を提供することで、体力や運動能力の向上を図る。

また、興味あるスポーツや自分に合った競技に出会い継続的にスポーツ活動を実施するきっかけを作ることで競技人口の増加と競技力向上を図る。

⑦ スポーツ少年団育成強化・交流促進事業

団活動の発表と仲間との交流を目的に、県内で各種交歓会を開催するとともに全国及び中国ブロック交流大会へ団員を派遣する。

低年齢層の団員に様々な運動が体験できる場を提供し、からだを動かすことの楽しさや喜びを伝える。

市町村スポーツ少年団及び単位団と連携を図り、青少年の発育発達に応じた活動を促すとともに、地域と連携した活動ができる組織を育成する。

ア. 母集団育成事業

イ. 市町スポーツ少年団本部連携強化事業

総会や連絡会議での情報提供、意見交換等を行う。

ウ. 交歓・交流事業

地域におけるスポーツ少年団活動を促進するため、スポーツ活動、文化活動等の交歓交流活動を通して県内外の仲間と交流を図る目的で実施する。

ア) 全国スポーツ少年団競技別交流大会島根県予選大会の開催

・バレーボール 平成30年11月18日：鹿島総合体育館（松江市）

・剣道 平成30年12月9日：島根県立武道館（松江市）

イ) 中国ブロックスポーツ少年大会の開催

平成30年8月17日～19日 島根県立少年自然の家（江津市）

ウ) 2018年日中スポーツ団員交流（派遣）

日中両国間の青少年が互いに交流を深め、相手の国や文化を理解し、時代を担う若者として貴重な体験をすることを目的に同時交流を実施する。

・平成30年8月上旬

エ. 競技別交歓会の開催

スポーツを通じて団員相互の交流及び団活動を豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的に、各競技別の交流大会を関係団体と連携し実施する。

ア) 県内競技別交歓会（5事業）

・剣道 平成30年5月20日：奥出雲町

・サッカー 開催時期未定：松江市



- ・ バレーボール 平成30年10月20日：江津市
- ・ 軟式野球 開催時期未定：安来市・松江市
- ・ ミニバスケットボール 開催時期未定：出雲市

イ) 中国ブロック交流大会への派遣

- ・ 軟式野球 平成30年7月21日～22日（鳥取県）
- ・ 卓球 平成30年10月20日～21日（岡山県）
- ・ バドミントン 平成30年8月24日～25日（山口県）
- ・ 中国ブロックスポーツ少年大会 平成30年8月17日～19日（島根県）

ウ) 全国交流大会への派遣

- ・ 第56回全国スポーツ少年大会への派遣  
平成30年8月2日～5日：主会場 茨城県立白浜少年自然の家（茨城県）
- ・ 第16回全国バレーボール交流大会への派遣  
【女子】平成31年3月28日～31日：べっぷアリーナ(大分県)
- ・ 第41回全国剣道交流大会への派遣  
平成31年3月27日～29日：維新百年記念公園（山口県）

オ. からだづくり運動ひろば開催事業

未就学から小学校低学年のスポーツ少年団員及び児童を対象に、遊びを通した運動プログラムを提供し、からだを動かすことの楽しさや面白さを感じてもらい、スポーツに意欲的に参加する子ども達の育成を目的に開催する。

- ・ 西部会場 平成30年10月13日：島根県立体育館（浜田市）
- ・ 中部会場 平成30年11月4日：三刀屋文化体育館アスパル（雲南市）
- ・ 東部会場 平成31年2月3日：松江市総合体育館（松江市）

⑧ リーダー養成事業

日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、スポーツ少年団発展の担い手として期待されるジュニア・リーダー（小学生）及びリーダー（中学・高校・大学生）を育成する。

ア. 県リーダー会活動支援

県スポーツ少年団リーダー会を対象に活動の促進と資質の向上を図るために、活動に必要な経費の一部を助成し支援する。

イ. ジュニア・リーダースクール及びリーダー研修会の開催

スポーツ少年団に登録する小学生及び中・高校生、大学生等青少年リーダーを対象に1泊2日の研修会を開催しリーダーとしての資質の向上を図り将来のスポーツ少年団指導者を養成する。

・平成30年5月5日～6日：国立三瓶青少年交流の家（大田市）

3) スポーツ医・科学事業

① 国体チームサポーター派遣事業

ブロック大会及び本大会において支援コーチ、トレーナー等を派遣する。

② スポーツ医・科学サポート事業

選手やチーム等へ専門的な知識を持ったサポートスタッフを派遣し、支援するとともに、メンタルトレーニングに関わる研修会等を実施することによって、競技力のさらなる向上を目指す。

③ アンチ・ドーピング教育・啓発事業

国体出場選手・監督並びに競技団体・県内高校ジュニア選手に対し、スポーツドクターやスポーツファーマシスト、栄養士を派遣しドーピングについての正しい知識や市販の薬並びにサプリメント使用の注意を促すとともにスポーツ栄養等についての教育・啓発を図る。

4) 競技力向上のための条件整備事業

① 激励、応援並びに競技力調査

競技団体の強化スタッフ並びに各高校指定校を訪問し、強化を推進するための問題や課題等について情報交換を行う。また、合宿、練習等への激励も行い、指導者、選手の意欲を高める。

各種大会を視察し、本県チーム選手を応援するとともに他県チーム選手の実態を調査し、競技力向上に資する。

県、県体育協会、競技団体、企業及び学校体育団体との連携を深め円滑な事業推進を図る。

② 競技団体並びに高校指定校・中学生指定競技指導者連絡会議

事業の円滑な推進を図るために、競技団体、高校指定校並びに中学生指定競技と意見交換や強化事業の説明会等を行う。

・事業説明会、国体報告会、ヒアリング等

(5) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

1) 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

地域住民による自主的・主体的なスポーツクラブの組織化・定着化の推進のため、総合型地域スポーツクラブが自主運営のできる組織として発展していくための支援、また、スポーツ活動の受け皿となるクラブ設立に向けての支援を行うなど、総合型地域スポーツクラブの意義・役割を啓発しクラブの充実発展、設立に対してサポートを行う。

2) 総合型地域スポーツクラブ広報活動費助成事業

島根県内の総合型地域スポーツクラブが実施するイベント・大会などのスポーツ活

動、会員募集やイベントを広く周知するための広報活動、研修会や講習会の参加旅費などに対して、その経費の一部を助成しクラブの発展に寄与する。

(6) スポーツ振興のための施設活用・提供事業

スポーツ教室及び特徴を活かした主催大会やイベントを開催することにより、利用者の拡大と促進に努める。

- ・高齢者の健康づくり支援として利用料金一部補助
- ・障がい者スポーツ指導員の設置
- ・しまね家庭の日に利用される家族へ高校生以下の無料サービス

1) スポーツ教室の実施（1, 518万円）

施設を最大限有効活用して、子どもからお年寄りまで、初心者から上級者まで幅広い層が参加できる豊富なメニューで多様なニーズに対応したスポーツ教室を実施する。

① 県立武道館

ア. 講師会議の開催

期 日 平成30年 4月13日（金）

対 象 各教室講師

イ. 開設期間

前 期 平成30年 4月17日（火）～ 平成30年9月15日（土）

後 期 平成30年10月 6日（土）～ 平成31年3月 9日（土）

ウ. 開設種目

区分	教室名	定員	対 象
武道・スポーツコース	柔 道	100名	小学生以上
	剣 道	100名	幼児（年長）以上
	弓 道	70名	中学生以上
	なぎなた	20名	小学生以上
	レスリング	35名	幼児以上～高校生
	剣道形基本錬成	20名	小学生高学年以上
	居合道	20名	小学生4年生以上
	短期相撲（7月～8月）	10名	小学生以上
ンリ健康・レックス コーエーシヨク	卓 球	40名	一般
	レッツ健康ボクシング	10名	小学生～一般
	キッズ体育	40名	幼児（年長）

エ. 特別教室

ア) 期 間 平成30年 4月 3日（火）～ 平成31年 3月29日（金）

イ) 開設種目

教室名	定員	対象
ヨガ	50名	一般
夜ヨガ		
いきいき健康		

② 県立石見武道館

ア. 講師会議の開催

期 日 平成31年2月上旬

イ. 開設期間

前 期 平成30年4月上旬～平成30年9月下旬

後 期 平成30年10月上旬～平成31年3月中旬

ウ. 開設種目

教室名	定員	対象
柔 道	50名	幼児から中学生
剣 道	50名	小学生・中学生
居 合 道	10名	小学4年生から中学生
	20名	高校生以上
レスリング	30名	幼児から中学生
フレッシュアップ3B	30名	一般（大学生以上）
ママ&ベビーキッズ3B	30組	乳児から入園までの幼児と保護者
ラージボール卓球	44名	一般（大学生以上）
気功・太極拳（昼）	30名	一般（大学生以上）
気功・太極拳（夜）	30名	一般（大学生以上）
YD（やればできる）教室	20名	一般（大学生以上）

③ 県立水泳プール

ア. 開設期間 1 次 平成30年 4月中旬～平成30年 6月下旬

2 次 平成30年 9月上旬～平成30年12月中旬

3 次 平成30年12月中旬～平成31年 3月下旬

夏 期 平成30年7月・8月

※教室（1次）（2次）の初回を「体験会」とする。参加料は無料。

イ. 開設種目

(1次・2次・3次)

教室名		定員	対象
ジュニアコース	キッズスイム (火曜 金曜 土曜)	45名	幼児 (4歳以上)
	ジュニアスイム (初級 中級 上級)	62名	小学生
	トランポリン (初級 中級 上級)	30名	小学生
	はじめてのシンクロ教室	10名	幼児・児童(泳力のある者)
	ジュニアダンス基礎	15名	小学生
一般コース	エンジョイスイム	10名	一般
	エンジョイアクア	30名	
	機能改善アクア	15名	
	アクティブヨーガ	45名	
	陰ヨガ	15名	
	ピラティス	15名	
	健美健康体操	15名	
	骨コツメンテナンス	15名	

(夏期)

教室名		定員	対象
夏の短期水泳教室 (ジュニア)		15名	小学生
夏の短期飛込教室 (ジュニア)		10名	
一般コース	エンジョイアクア	30名	一般
	機能改善体操	15名	
	アクティブヨーガ	45名	
	陰ヨガ	15名	
	ピラティス	15名	
	健美健康体操	15名	
	骨コツメンテナンス	15名	

ウ. 「脳と心と身体のバランス講座」

期 日 平成30年 5月中旬～ 8月中旬 (全10回)

9月上旬～12月中旬 (全10回)

対 象 概ね50歳以上の男女

定 員 各先着20名

エ. 「短期カヌー教室」

期 日 平成30年 9月中旬～10月中旬 (全3回)

対 象 小学生男女

定 員 先着9名

オ. 「チャレンジエクササイズコース」

期 日 平成30年10月上旬～12月上旬 (全10回)

対 象 満20歳以上の男女

定 員 先着16名

#### ④ 県立体育館

ア. 講師会議の開催

期 日 平成30年10月27日 (土)

イ. 開設期間

前 期 平成30年4月上旬～平成30年9月下旬

後 期 平成30年10月上旬～平成31年3月中旬

ウ. 開設種目

教 室 名	定 員	対 象
キッズ広場	15名	幼児年中
キッズ体操	20名	幼児年長
ジュニア卓球	30名	小学4～6年
アクティブジュニアスポーツ (新規)	30名	小学4～6年
ふれあい広場	60名	小学1～3年
体操	45名	小学生
ジュニアテニス	20名	小学4～6年生
体操競技クラブ	30名	小学生(当館教室生から講師が選抜)
トランポリン	25名	小学生以上
ソフトテニス (夜)	60名	中学生以上
ステップエアロ	20名	一般
テニス (水)	40名	中学生以上
バドミントン	60名	中学生以上
卓球・ラージボール卓球 (金)	53名	中学生以上
フォークダンス (昼)	40名	一般
フォークダンス (夜)	40名	一般
介護予防体操	20名	高校生以上
のびやか3B体操	30名	一般

だれでもソフトテニス	40名	一般
卓球・ラージボール卓球（火）	60名	一般
ヨガ（木）	25名	一般
ヨガ（金）	25名	一般
テニス（金）	20名	一般
転ばぬ先の筋肉（新規）	20名	一般
女性軽スポーツクラブ	40名	一般女性
軽スポーツクラブ	30名	45歳以上
ソフトテニスクラブ	20名	一般
レクリエーションバレークラブ	45名	一般
ソフトバレーボールクラブ	20名	一般

エ. 特別教室（新規）

- 開設種目 （1）コンディショニング 対象：一般 期間：半期10回  
（2）HIPHOPダンス 対象：小学生 期間：半期18回

⑤ 県立サッカー場

- ア. 開設期間 前期 平成30年 4月8日（日）～平成30年9月16日（日）  
後期 平成30年10月7日（日）～平成31年3月24日（日）

イ. 開設種目

教室名	定員	対象
キッズサッカースクール・1年生	20名	小学生1年生男子
キッズサッカースクール・2年生	20名	小学生2年生男子
キッズサッカースクール・3年生	20名	小学生3年生男子
少女サッカースクール	20名	小学生2年生～6年生女子
なでしこサッカースクール	20名	中学生以上女子

2) スポーツイベント、大会等の実施

① 県立武道館

ア. 第48回島根県少年武道大会

- （剣道大会）期 日 平成30年 7月 1日（日）  
対 象 小・中学生  
（柔道大会）期 日 平成30年 7月 8日（日）  
対 象 小・中学生

イ. 島根県立武道館「新春稽古始め！」

- 期 日 平成31年 1月 5日（土）  
対 象 各教室生、愛好者

ウ. 第51回島根県武道振興大会

平成30年 9月 2日(日)

エ. 島根県(松江市)地方青少年武道錬成大会

(弓道) 期日 平成30年 8月10日(金)～12日(日)

対象 中・高校生

(柔道) 期日 平成30年 9月 8日(土)～ 9日(日)

対象 中・高校生

オ. 島根県(松江市)地域社会武道指導者研修会

(弓道) 期日 平成30年 9月22日(土)～23日(日)

対象 参段以上の指導者

カ. スポーツ推進月間

期間 平成30年10月1日(月)～31日(水) ※無休で開館

・「エンジョイ武道・スポーツの日」

期日 平成30年10月13日(土)

内容 体験教室(柔道・剣道・弓道・なぎなた・レスリング・キッズ体育等)

武道・スポーツのイベント等

対象 幼児、小学生、中学生、高校生、一般

・「月曜日体験イベント」

期日 平成30年10月1日(月)・15日(月)・  
22日(月)・29日(月)

内容 柔道、剣道、なぎなた、相撲(新規)レスリング、  
キッズ体育

対象 幼児、小学生、中学生、高校生、一般

キ. 「武道館」報の発行 年2回(9月・3月)

② 県立石見武道館

ア. 第22回島根県立石見武道館少年武道大会の開催

(柔道大会) 期日 平成31年1月20日(日)

対象 小学生

(剣道大会) 期日 平成31年2月 3日(日)

対象 小学生

イ. ヘルスケアチェックの日

期日 原則 毎月 第4日曜日 10:00～20:00

対象 当館利用者の高校生以上で希望される方

ウ. スポーツ推進月間

期間 平成30年10月1日(月)～31日(水) ※無休で開館

ア) 『スポーツ体験&チャレンジDAY』



- 期 日 平成30年10月 7日 (日)  
 内 容 無料開放 (アリーナ及びトレーニング室)
- イ) 『柔道稽古会』  
 期 日 平成30年10月21日 (日)
- ウ) 『剣道稽古会』  
 期 日 平成30年10月27日 (土)
- エ) 『ファミリーフェスタみんなで楽しく3Bハロウィン』 (新規)  
 期 日 平成30年10月28日 (日)
- オ) 『ヘルスケアチェックの日』  
 期 日 推進月間内の土、日、月曜日
- エ. 「石見武道館だより」の発行 年1回 (3月)

### ③ 県立水泳プール

#### ア. 夏だ!遊ぼう!プール祭り

- 期 日 平成30年8月5日 (日)  
 対 象 プール利用者 (小学生以下及びその保護者)

#### イ. スポーツ推進月間

- 期 間 平成30年10月1日 (月) ~ 31日 (水) ※無休で開場

##### ・「カヌー体験」

- 期 日 平成30年10月6日 (土)  
 対 象 小学生及びその保護者

##### ・「チャレンジ!スポーツDAY」

- 期 日 平成30年10月8日 (月) 「体育の日」  
 内 容 「プール及びトレーニングルームを無料開放」  
 「水泳記録会」  
 対 象 希望者

##### ・「エクササイズ」

- 期 日 【第1回】平成30年10月15日 (月)  
 【第2回】平成30年10月27日 (土)  
 対 象 一般男女

#### ウ. 一般利用者対象指導

- 期 日 週1回  
 対 象 施設利用者 (一般)  
 種 目 ①初級スイム  
 ②アクアフィットネス  
 ③ストレッチポール

#### エ. スポーツ・健康相談 「カラダチェックの日」

- 期 日 毎週水曜日

対 象 施設利用者（一般）

オ. 夏期（7月1日～8月31日）無休で開場

④ 県立体育館

ア. 「第41回島根県立体育館建設記念島根県体操競技大会」

期 日 平成30年11月10日（土）、11日（日）

対 象 小学生・中学生・高校生

イ. 「ファミリースポーツの日」

期 日 平成30年6月16日（土）

平成30年9月15日（土）

平成31年1月19日（土）

対 象 希望者

ウ. 「サスペンショントレーニングで体改革」（新規）

期 日 平成30年4月下旬～平成31年3月上旬

内 容 月1回 Inbody で体組成管理をしながら TRX トレーニングで肉体改造を行う。

対 象 希望者（一般）

エ. 「スポーツ推進月間」

平成30年10月1日（月）～31日（水） ※無休で開館

ア) 「チャレンジスポーツデー」（新規）

期 日 平成30年10月7日（日） 13:30～15:30

内 容 大人から子供までスポーツにチャレンジする場を提供。

対 象 希望者

イ) 「エンジョイスportsデー」

期 日 平成30年10月21日（日） 10:00～16:00

内 容 大人から子供までスポーツに親しむ場を提供する。

対 象 希望者

ウ) 「大人のアクロバット広場」（新規）

期 日 平30年10月1、8、15、22、29日

19:00～20:30

内 容 トランポリンやホッピングマットを使用して、アクロバットな技の習得を目指す。

対 象 希望者（一般）

オ. 「体育館ニュースの発行」

年1回（3月）

⑤ 県立サッカー場

ア. なでしこカップレディースサッカー大会

期 日 平成31年3月

対 象 女子(中学生以上)

イ. フトゥーロ・カップU-17ユースサッカーリーグ

期 日 平成31年1月～3月

対 象 高校生

ウ. スタジアムカップサッカー大会

期 日 平成31年3月

対 象 社会人

エ. 7月「ホット7(セブン)ナイトサッカー」

期 間 平成30年7月2日(月)～8月27日(月)

※毎週月曜日(休場日)のナイターを開場

対 象 社会人及びユース年代のチーム

オ. スポーツ推進月間

平成30年10月1日(月)～31日(水) ※無休で開場

・フトゥーロ・フェスタ2018・U-6キッズサッカーフェスティバル

期 日 平成30年10月 6日(土)

対 象 6歳以下の幼児

### 3) スポーツ振興のための施設の貸与

本会が管理、運営する県教育委員会から指定を受けた県立武道館(松江市)、県立石見武道館(浜田市)、県立水泳プール(松江市)、県立体育館(浜田市)、県立サッカー場(益田市)の5施設において、スポーツ団体をはじめ多くのスポーツ愛好者等にスポーツ振興に係る目的で施設等を貸与し、県民のスポーツ意識の高揚を図り、スポーツライフの実現の場を提供する。

また、本県は高齢化率の高いことから、高齢者がスポーツを通じて豊かで活力ある生活を営むために、65歳以上の利用者には、本会が利用料金の一部を補助することでスポーツライフを後押する。

スポーツを通じた家族間のコミュニケーション充実による、県民の健康で豊かな生活の実現のための一助として、しまね家庭の日に施設を利用する家族へ高校生以下を対象に施設の無料開放を行う。

## (7) 国民体育大会派遣事業

1) 国体予選会の開催及び中国ブロック大会、本大会への選手等の派遣

国体島根県予選会を開催して国体出場者(チーム)あるいは、国体中国ブロック大会出場者(チーム)を決定している。この予選会については、運営基準、競技規則等が競技ごとに定められていることから、国体開催競技の団体に補助金を交付し連携のうえ開催する。

県予選会の結果決定した島根県代表選手を冬季国体も含めた国民体育大会本大会及び中国ブロック大会へ派遣するための事業である。

① 国民体育大会(本大会・冬) 県予選会の開催

40競技団体において県予選会を実施する。

② 国民体育大会(本大会・冬) 中国ブロック大会への派遣

山口県を中心に開催される中国ブロック大会へ選手団を派遣する。

③ 国民体育大会(本大会・冬) への派遣

福井県で開催される本大会「福井しあわせ元気国体」及び北海道で開催される冬季大会へ選手団を派遣する。

国体出場選手に対し国体選手メディカルチェック事業により健康調査票による問診を実施し、国体での事故を未然に防ぐ。また、調査結果を基に今後のスポーツ医・科学サポート事業に活かす。

(別表1)

## 平成29年度～31年度 重点校

No.	学 校 名	男 子	女 子
1	安 来 高 校	バ レ ー ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル
		フ ェ ン シ ン グ	フ ェ ン シ ン グ
2	松 江 東 高 校	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	ボ ー ト
3	松 江 工 業 高 校	ソ フ ト テ ニ ス	—
4	松 江 商 業 高 校	—	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル
5	横 田 高 校	ホ ッ ケ ー	ホ ッ ケ ー
6	三 刀 屋 高 校	ソ フ ト ボ ー ル	—
7	出 雲 高 校	—	弓 道
8	出 雲 農 林 高 校	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ	カ ヌ ー
9	大 社 高 校	剣 道	剣 道
10	島 根 中 央 高 校	カ ヌ ー	—
11	江 津 高 校	水 球	—
12	江 津 工 業 高 校	ボ ー ト	—
13	隠 岐 島 前 高 校	レ ス リ ン グ	—
14	開 星 高 校	柔 道	新 体 操
		テ ニ ス	テ ニ ス
15	立 正 大 湊 南 高 校	サ ッ カ ー	—
		ラ イ フ ル 射 撃	ラ イ フ ル 射 撃
16	松 江 西 高 校	—	ソ フ ト テ ニ ス
17	出 雲 北 陵 高 校	卓 球	な ぎ な た
18	石 見 智 翠 館 高 校	ラ グ ビ ー	—
19	明 誠 高 校	—	卓 球
		—	柔 道
19校		18種目	15種目

※陸上競技、水泳競技（競泳・飛込）、ボクシングは、個人を指定し強化を図る。

(別表2)

## 国体女子種目指定校

No.	学 校 名	競 技 種 目
1	石 見 智 翠 館 高 校	ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル
2	出 雲 農 林 高 校	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ
3	隠 岐 島 前 高 校	レ ス リ ン グ
4	松 江 商 業 高 校	サ ッ カ ー
4校		4種目

(別表3)

平成30年度中学生指定競技種目及び指定人数一覧表

No.	競技種目	性別	人数				
			指導者	団体	個人	小計	合計
1	陸上競技	男女	4		40	44	44
2	剣道	男子	1	7		8	16
		女子	1	7		8	
3	柔道	男子	1		7	8	16
		女子	1		7	8	
4	卓球	男子	1	8		9	18
		女子	1	8		9	
5	水泳(競泳・飛込)	男女	4		18	22	22
6	バスケットボール	男子	1	16		17	34
		女子	1	16		17	
7	バレーボール	男子	1	13		14	28
		女子	1	13		14	
8	ソフトボール	女子	1	18		19	19
9	サッカー	男子	1	18		19	19
10	ソフトテニス	男子	1	8		9	18
		女子	1	8		9	
11	バドミントン	男子	1	7		8	16
		女子	1	7		8	
12	ホッケー	男子	1	15		16	32
		女子	1	15		16	
13	新体操	女子	1		4	5	5
計			27	184	76	287	287

(別表4)

## 平成29年度～31年度 西部・隠岐拠点校

NO	学校名	男子	女子
1	江津高校	ハンドボール	ハンドボール
2	浜田高校	バレーボール	バレーボール
		体操	体操
		バスケットボール	—
3	益田高校	—	バスケットボール
4	益田翔陽高校	サッカー	—
5	隠岐水産高校	ヨット	ヨット
		相撲	—
5校		7種目	5種目